

サイエンスカフェ「科学技術と人の幸せ」20180215

2月15日（木）サイエンスカフェ「科学技術と人の幸せ ～遺伝子診断によってもたらされた選択肢を考える～」を実施しました。

遺伝子診断の技術が進歩し、医療に新たな選択肢が加えられました。「遺伝子診断をすれば、将来難病を患うかどうかわかる」と告知されたとき、あなたなら遺伝子診断を受けますか？ このようなことをテーマに、大日本住友製薬株式会社から遺伝子診断技術の開発に携わる研究者の方を講師にお招きし、1～5年生と一緒にディスカッションを行いながら考えを深めました。

私たちは、日々進歩する科学技術とどのように向き合っていくべきなのか。一人一人が自分のこととして考える時間になりました。



参加生徒の感想

もし自分がこういった状況に直面したとき、どうすれば良いかという、日常で考えられないことを考えることができた（2年生）。

遺伝子診断のメリットとデメリットを整理して考えることで、より難しい問題であると感じるようになった（3年生）。

遺伝子診断を受けるかどうかは個人の判断を尊重すべきだと思った。診断結果を知りたくない人の権利も守られるべきだと思った（3年生）。

科学技術の進歩を自分たちにとって良いものとするためには、人間として考え続けること不可欠だと感じた（4年生）。

はじめは遺伝子診断を受けたいと思った。でも、自分に家族や子どもがいると考えると、良いことばかりではないと感じた（5年生）。